

令和3年度 第3回福岡県循環器病対策推進協議会 議事録

日 時：令和4年2月15日（火）

14：00～15：00

開催方法：オンライン開催

※議事録の文章は、実際の発言の趣旨を損なわない程度に、読みやすく整理したものです。

【司会】

定刻になりましたので、ただ今より、令和3年度 第3回 福岡県循環器病対策推進協議会を開催します。

本日は、大変お忙しい中、御出席いただきありがとうございます。本日の司会を務めます、福岡県保健医療介護部がん感染症疾病対策課課長技術補佐の松田です。よろしくお祈いします。

はじめに、お手元配布の資料につきまして確認させていただきます。

1つ目に、次第

2つ目に、別添資料1「福岡県循環器病対策推進協議会委員名簿」

3つ目に、別添資料2「福岡県循環器病対策推進計画（最終案）」

4つ目に、別添資料3「福岡県循環器病対策推進計画（最終案）―各意見を踏まえた変更点等について―」

5つ目に、添付資料4「福岡県循環器病対策推進協議会設置要綱」

以上、不足する資料はございませんでしょうか。

では、開会に当たり、福岡県保健医療介護部がん感染症疾病対策課課長の田中からごあいさつ申し上げる予定としておりましたが、公務の都合で出席ができませんので、私から代読させていただきます。

【がん感染症疾病対策課課長技術補佐】

本日は、大変お忙しい中、令和3年度 第3回「福岡県循環器病対策推進協議会」にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

また、日頃より、本県の保健医療行政に関しまして、ご指導、ご支援を賜り重ねてお礼申し上げます。

さて、昨年12月に実施をいたしました本協議会では、循環器病対策推進計画の素案について、委員の皆さま方から貴重なご意見をいただきました。

また、今年1月には、広く県民の皆様からのご意見を聴くため、パブリックコメントを実施いたしましたところ、8件のご意見が寄せられました。

それらのご意見を踏まえまして、計画の最終案を取りまとめたところでございます。

本日は、その最終案について、事務局より、前回お示ししました計画素案からの変更点等を説明させていただきます。

本計画の策定につきましては、令和2年度から協議を重ねてまいりましたが、本日が最終協議となります。限られた時間ではございますが、どうぞ忌憚のないご意見をいただきますよう、宜しく願い申し上げます。

【司会】

続きまして、長柄会長からご挨拶をお願いいたします。

【長柄会長】

皆さんこんにちは。長柄でございます。

新型コロナウイルス感染症が収まりきれておらず、それぞれのお立場で苦慮されておられるところかと思いますが、この協議会の計画も最終案という段階となっておりますので、是非皆さまの忌憚のないご意見をよろしくお願ひしたいと思ひます。

【司会】

続きまして、委員のご紹介ですが、前回から変更がございませんので、委員名簿の配布をもって代えさせていただきます。

なお、本日は、神村委員から欠席のご連絡を受けています。

また、本日欠席の委員につきましては、書面でご意見を伺うこととしております。

続きまして、本県の出席者を紹介します。

がん感染症疾病対策課疾病対策係長の中牟田でございます。

疾病対策係の梅田でございます。

それでは、以後の議事進行につきましては、協議会設置要綱第6条に基づき、長柄会長にお願いいたします。

【長柄会長】

それでは会議を開始したいと思います。

それぞれのご意見をいただいた最終案がお手元にあると思いますが、パブリックコメントを求めていたところいくつかご意見をいただきました。それについて、県の方も含めて協議いたしまして、最終案を作っております。それについて、事務局より一括してご説明いただきたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。

(事務局説明)

【長柄会長】

ありがとうございました。

各委員からご意見があった部分と、事務局で検討した部分、パブリックコメントでいただいた意見に対する対応と3つに分けてご説明いただきました。

こういった計画案は全体的にはやはり各論まで見込めず、どちらかという総論的にならざるを得ないという宿命があると思いますので、個々のご指摘いただいた部分についてもどこまで具体的な項目を入れるかということも考えることもあるかと思いますが、ガイドラインという形での総論としては、事務局から説明があつたくらいが適当ではないかというふうに考えております。

では、それぞれのお立場でご意見がございましたらお伺いしたいと思います。

全国心臓病の子どもを守る会福岡県支部の江田様いかがでしょうか。

【江田委員】

今回の最終案の中に、前回ご意見させていただいた心臓病児の生活面でのサポートについて組み込んでいただいております。

まだまだ検討の余地はあるかと思いますが、患者会の方でもこの件を周知してまいりたいと思います。

【長柄会長】

ありがとうございました。

それでは、福岡僚友会の市原様いかがでしょうか。

【市原委員】

前回の会議で発言させていただきました箇所について盛り込んでいただいております。

今回最終案ということで、少し提案させていただきたい件がございます。

46頁の第4章「3 多職種連携による循環器病患者への支援の充実」の(1)循環器病に関する適切な情報提供・相談支援の取り組むべき施策について、相談支援体制の構築の中に、「ピア相談、患者会との連携」について追記していただければと思います。

理由としては、医療機関から社会復帰した際に当事者が受ける衝撃は並大抵のものではないと思っています。そのような中で、医療関係の専門職の方にコーディネートしていただくことは大変ありがたい反面、気持ちの部分はなおざりにされてしまいがちではないかと思っています。もちろん仕事として感情が入るとやりにくい部分もあることも理解してお

ります。

そういったことを考えますと、患者の家族のように共有、共感することのできる第3者として、患者会やピア相談員と連携があると計画に謳っていただくことで当事者の助けになると考えております。

【長柄会長】

ありがとうございました。

続きまして、福岡県栄養士会の大部様お願いいたします。

【大部委員】

前回の意見も全て反映されており特に意見はありません。

また、食事のところは実行性が難しく、数字だけ合わせるのではなく、今回の食塩の箇所にしても国の基準ではなく、福岡県の実態に合わせていただいたところでは実行しやすいのではないかと思います。

【長柄会長】

ありがとうございました。

福岡市消防局警防部救急課の四島様いかがでしょうか。

【四島委員】

18頁の救命講習の状況などございますが、福岡市についても一般の方への救命講習に加えまして、平成25年度から福岡市内の145の小学校、69の中学校を含めて、全ての学校で教育委員会と共同して、先生方にも救命講習の指導者になっていただき、小学校5年生と中学校2年生の多くの子供たちに救命講習を実施しており、全国的にも珍しい取り組みでありまして、積極的に展開していきたいと考えております。

また、20頁の搬送時間につきましては、新型コロナウイルスの関係で、福岡市は、去年、一昨年と少し延長傾向にあります。各機関と協力しまして搬送困難事案をなるべく出さないように努めているところです。

修正等について特にありません。以上です。

【長柄会長】

ありがとうございました。

積極的な救命講習会等の努力につきましては敬意を表します。今後ともよろしく願いいたします。また、搬送時間については、新型コロナウイルスの影響で確かに伸びておりますけれども、20頁に記載されている平均時間につきましては、訂正の必要はございますか。

【四島委員】

このままで大丈夫です。

【長柄会長】

ありがとうございました。

それでは、福岡大学病院の井上先生お願いいたします。

【井上委員】

前回ご指摘しました件につきましては、適切に修正していただいております。

他は特にございません。

【長柄会長】

ありがとうございました。

それでは、九州医療センターの岡田先生よろしくお願いいたします。

【岡田委員】

前回の意見の希望をほぼ反映いただきましてありがとうございました。

細かい点で可能であればというところで意見させていただきます。

1つ目は、13頁に「リスクを高める飲酒」というのがありますが、県の方でこのグラフを作成するにあたって、例えば3合以上などエタノール40gなど何か基準がありますでしょうか。そういったものがもし入れられればと思っています。

【長柄会長】

事務局からどうぞ。

【事務局】

リスクを高める飲酒につきましては、国で基準を設定しております、1日当たりの純アルコール摂取量は男性40g以上、女性20g以上となっております。例えば、缶ビール500mlが2缶で純アルコール量は約40gです。

こういった点の追加について検討したいと思います。

【岡田委員】

ありがとうございます。

分かりやすい短い文章で結構ですのでお願いできればと思います。

それから、もう1点は、29頁の脳卒中に係る医療連携の図の中段にあります急性期の医療の枠の中に、「救命告示病院、救命救急センター等」とあるのですが、このところに「脳

卒中センターを有する専門医療機関等」と記載いただけると良いかなと思いました。

【長柄会長】

事務局は、先ほど2番目に意見があった表について、文言を加えられるかどうか検討いただければと思います。

岡田先生、これは必ず入れないといけないでしょうか。可能な限りでよろしいでしょうか。

【岡田委員】

可能な限りで結構です。この図自体が、別のところで決まったようなもので、変更が難しいものであれば構いません。

【長柄会長】

了解いたしました。

それでは、九州大学の北園先生お願いいたします。

【北園委員】

適切にご対応いただいていると思えました。追加で申し上げることはございません。

【長柄会長】

ありがとうございました。

それでは、産業医科大学の佐伯先生よろしくお願いいたします。

【佐伯委員】

前回指摘させていただいた点については、適切に反映して頂いていますので問題ないと思えます。

【長柄会長】

ありがとうございました。

それでは、九州大学の筒井先生お願いいたします。

【筒井委員】

福岡県の循環器病対策推進計画がほぼほぼまとまったということで、どうもありがとうございました。

拝見して気づいたことが2点ほどございます。

1点目は、17頁のところ特定健診について、高血圧、心房細動、さらに心臓弁膜症を加えようということで、それ自体は、加えていただくことは良いと思えますが、特定健診の

そもその目的は、高血圧、糖尿病、脂質異常症、そして厚労省の肝いりでメタボリックシンドロームといういわゆる生活習慣病の早期発見から、心筋梗塞や脳卒中の予防をするための健診であるため、そういったところに高血圧、心房細動、心臓弁膜症等という言葉が出てきて、本来の特定健診の目的である糖尿病、脂質異常症などがここに出てこないというのは、少しバランスが悪いような印象がありますので、追記していただくかどうか検討いただければと思います。

もう1点は、45頁のところですが、移行医療体制の整備は、今回の厚労省が出している施策の10本の中でも重要な一つと捉えられておられて、学会としてもこの移行期医療というのは非常に重要な今後の施策というように考えています。それで、先ほどご説明いただいたご意見への対応について、成人先天性心疾患患者のフォロー体制の整備については、実際にこれを計画に書き込むのは難しいということですが、実際には、45頁のところに「移行期医療体制の整備」という項目があって、そこに「小児期と成人期の診療科目間の連携を図り、必要な医療を切れ目なく受けられるような移行医療支援」という文言があります。

成人先天性心疾患というのは、年間1万人の患者さんが移行しているという非常に大きな数になっているので、そのところに、専門医や専門医療機関とまでは書いていただく必要はないと思いますが、フォロー体制の整備について、文中に「移行医療支援」とありますので、少し具体的な内容を追記していただくと、この意見も反映いただいた文書になるのではないかと思います。

【長柄会長】

ありがとうございました。

事務局、先ほどの2点について即答できることはございますか。

【事務局】

担当部署に確認させていただきまして検討させていただきます。

【長柄会長】

よろしく申し上げます。

筒井先生より具体的な文言の追加についてご指摘がございましたので、ご指摘の文言を反映できるかどうかについてご検討いただければと思います。

続きまして、産業医科大学の西村先生お願いいたします。

【西村委員】

いくつか意見させていただいたことは反映いただいているようですので、特に申し上げることはございません。

【長柄会長】

ありがとうございました。
続きまして、久留米大学の福本先生よろしく願いいたします。

【福本委員】

私からは特にございません。どうもありがとうございました。

【長柄会長】

ありがとうございました。
福岡県看護協会の石橋様いかがでしょうか。

【石橋委員】

38頁に循環器病疾患に係る人材のことが書かれております。数の問題と質の問題、両方あると思いますが、両方とも取り組むべき施策の中に入っておりますので、看護協会としても資質の向上というようなことで取り組んでいけたらと考えております。

特段、修正や追加の意見はございません。

【長柄会長】

ありがとうございました。
歯科医師会の津田先生お願いいたします。

【津田委員】

特にございません。どうぞよろしく願いいたします。

【長柄会長】

ありがとうございました。
福岡県医師会の横倉先生いかがでしょうか。

【横倉委員】

県の医師会としましても、かかりつけの先生の方々や大学病院の高度専門医療の先生方まで幅広い方がいらっしゃる中で、循環器病に対する対策の柱が出来ましたのでこれを広めていきたいと思っております。

【長柄会長】

ありがとうございました。

では、おおむね今回出しました最終案については、お認め頂いたものという風に考えます。ただし、本日いただいたご指摘がございましたので、こちらについて大筋は変わらないのですが、文言を入れるかどうかというところだと思いますので、事務局と私の方にご一任賜れればと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、皆さまからご意見をいただいたところではありますが、全体を通じましてご意見ございますでしょうか。

(意見なし)

それでは、事務局にお尋ねします。

本日ご意見いただいた最終案については、どのように各委員に報告されますか。

(事務局)

本日いただいた意見につきましては、各委員に確認を取らせていただいた後に、長柄会長との協議をさせていただいて、事務局の方で修正という形をとらせていただければと思っておりますがいかがでしょうか。

(長柄会長)

各委員の先生方よろしいでしょうか。ご承諾いただけますでしょうか。

(意見なし)

では、事務局と私の方で責任を持って対応させていただきたいと思います。

それでは、長い時間本当にありがとうございました。最終案をまとめることができましたので、皆さまの御協力に感謝いたします。

進行を事務局にお返しいたします。

【事務局】

長柄会長、ありがとうございました。

また、委員の皆様におかれましては、貴重な意見やご助言をいただきましてありがとうございます。

本日いただきました意見につきましては、前向きに検討させていただいて、最終案を作り上げていきたいと思っております。

予定といたしましては、今年3月までに本計画を策定いたしまして、令和4年度より本計画に基づいた個別施策を実行させていきたいと考えております。引き続き、長柄会長をはじめ委員の皆さま方からお力添えを頂きながら進めていきたいと考えておりますので、今後

ともどうぞよろしくお願いたします。

それでは、これを持ちまして、令和3年度第3回福岡県循環器病対策推進協議会を終了します。

本日は、誠にありがとうございました。